

津波対策

問 津波対策として海岸地域に避難所ともなる公園等を設置してはどうか。

答 平坦地である海岸地域に、避難所を設置することは、逆に危険性を高めることにもなりかねない。現在、防災計画の見直しを進めているので、県等の指導を仰ぎながら慎重に対応したい。

植林計画

問 県道飯岡一宮線に沿った町有地、通称「今切り山」の松が、松くい虫の被害等で激減している。植栽の計画はないか。

答 海岸の青松は、白砂と同様に町の貴重な観光資源である。毎年、松くい虫の防除を行い松林の保全に努めているが年々減少している。海岸整備と併せて今後の対応を図っていきたい。

施政方針

問 二期目を迎えた實川町長の重点施策について伺いたい。

答 二十一世紀に向かうに当たって、新しい時代にふさわしい、活力ある町づくりを進めるため、主に次の事業を積極的に推進していく。

- スポーツ広場の完成
- 主要地方道横芝下総線バイパスの早期着工
- 大網白里町から当町までの大型農道整備事業の促進
- 福祉保健センターの建設
- 農村集落排水事業の推進
- 海岸整備

河川改修

問 栗山川拡張事業の進捗状況と、今年度の計画について伺いたい。

答 栗山川の拡張は、湛水被害の解消と、下流部の洪水被害の防止を目的としており、昭和49年から県土木部によって行われている。

事業内容は、河口から幾地先まで約9km間の川幅を現在の2倍にするもので、これまでに小河川改修事業で河口から進められていたが、早期改修を図るため、平成3年度に、この区間のうち栗山地先の横芝堰から幾地先までに住宅地関連公共施設整備促進事業が取り入れられた。平成6年度末の進捗率は堰の上流で41・3%、下流で43・2%である。

今年度の事業計画としては、14億4200万円の事業費で、築堤工事のほか用地取得や測量調査等を実施することである。



改修工事によって2倍の川幅になった河川附近

道路問題

問 主要地方道横芝下総線の小堤地先から谷台地先までの間は、歩道がなく危険である。早急に

これからも要望していく。町内には26・2kmの県道が縦横断しているが、歩道設置率は約50%である。

円高対策

問 ここ数年の円高により、ついに1ドル80円台の時代を迎え、中小企業者に悪影響が出ている。町ではどのような対策を考えているか。

答 県においては、運転資金として3000万円を限度に特別経営安定対策資金の融資をこの4月から行っている。これまでに当町からの申し込みはないようであるが、業種によっては、厳しい経営状況に直面している中小企業者もあると思われるので、町の中小企業振興融資資金を十分活用していただけるよう指導していきたい。

中小企業振興融資資金

問 3000万円の中小企業振興融資資金を4000万円に引き上げられないか。

答 中小企業振興融資資金は、町が資金源として町内の金融機関に併せて3000万円の貸付けをし、金融機関がこの7倍、2億1000万円までの資金を中小企業者に融資できるようになっている。